

(表1)就労支援事業別事業活動明細書



就労支援事業の年間売上高が5,000万円以下であって、多種少額の生産活動を行う等の理由により、製造業務と販売業務に係る費用を区分することが困難な事業所

事業所名 就労継続支援A型事業所 スマイル

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(金額単位:円)

勘定科目		合計	リサイクルハンガー作業、タオルクリーニング作業、施設外就労
収益	就労支援事業収益	18,194,019	18,194,019
		0	
	就労支援事業活動収益 計	18,194,019	18,194,019
費用	就労支援事業費	17,196,588	17,196,588
	期首製品(商品)棚卸高	0	
	当期就労支援事業製造原価	17,196,588	17,196,588
	当期就労支援事業仕入高	0	
		0	
	合 計	17,196,588	17,196,588
	期末製品(商品)棚卸高	0	
	差 引	17,196,588	17,196,588
		0	
	就労支援事業活動費用 計	17,196,588	17,196,588
	就労支援事業活動増減差額	997,431	997,431

※ 多種少額の生産活動を行う等の理由により、作業種別毎に区分することが困難な場合は、作業種別毎の区分を省略しても可

※ 製品(商品)を仕入れて販売しない(製品等の棚卸管理を行わない)事業所については、期首・期末棚卸高、仕入高への計上は不要

(表4)就労支援事業明細書

☒ 就労支援事業の年間売上高が5,000万円以下であって、多種少額の生産活動を行う等の理由により、製造業務と販売業務に係る費用を区分することが困難な事業所

事業所名 就労継続支援A型事業所 スマイル

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

(金額単位:円)

勘定科目	合計	リサイクルハンガー作業、タオルクリーニング作業、施設外就労
I 材料費		
1. 期首材料棚卸高	70,620	70,620
2. 当期材料仕入高	1,686,847	1,686,847
計	1,757,467	1,757,467
3. 期末材料棚卸高	277,480	277,480
当期材料費	1,479,987	1,479,987
II 労務費		
1. 利用者賃金	9,913,182	9,913,182
2. 利用者工賃	0	
3. 就労支援事業指導員等給与 ※	0	
4. 就労支援事業指導員等賞与引当金繰入 ※	0	
5. 就労支援事業指導員等退職給付費用 ※	0	
6. 法定福利費	40,762	40,762
当期労務費	9,953,944	9,953,944
III 外注加工費	0	
(うち内部外注加工費)	0	
当期外注加工費	0	0
IV 経費		
1. 福利厚生費	3,433	3,433
2. 旅費交通費	128,940	128,940
3. 運賃	946,862	946,862
4. 消耗品費	106,166	106,166
5. 支払手数料	28,491	28,491
6. 水道光熱費	1,530,388	1,530,388
7. 燃料費	139,389	139,389
8. 修繕費	157,443	157,443
9. 通信運搬費	3,625	3,625
10. 受注活動費	0	
11. 事務消耗品	11,241	11,241
12. 損害保険料	21,670	21,670
13. 賃貸料	1,500,000	1,500,000
14. リース料	1,025,560	1,025,560
15. 租税公課	39,600	39,600
16. 減価償却費	0	
17. 雑費	119,849	119,849
当期経費	5,762,657	5,762,657
当期就労支援総事業費	17,196,588	17,196,588
期首仕掛品棚卸高	0	
合 計	17,196,588	17,196,588
期末仕掛品棚卸高	0	
就労支援事業費	17,196,588	17,196,588

※ 「就労支援事業指導員等」は、指定基準を超えて専ら就労支援事業に従事するものとして雇用している従業員で、公費(訓練等給付費)で評価されている職員は、「福祉事業会計」で処理する。

※ 必要に応じて、勘定科目を追加のこと